

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



沖縄ヤクルト株式会社

2024年度

SDGs活動報告書

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



11 住み続けられる
まちづくりを



3 すべての人に
健康と福祉を



健康応援企業
沖縄ヤクルト



8 働きがいも
経済成長も



作成日 2025. 1 1

13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナリーシップで
目標を達成しよう





沖縄ヤクルト「SDGsテーマ」



の健康

お客さま 地域

従事者

地球の健康

SDGsの達成に向け、さまざまな挑戦をしていきます。



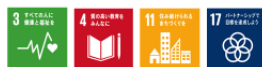
人（お客さま）の健康

～「健康のプロ」によるお役立ち～

- 1 - 「健康のプロ」集団による健康サポート
- 2 - お客さま一人ひとりに寄りそった価値共創

※沖縄ヤクルトの「健康のプロ」とは…

健康の知識を持ち、自らも健康な状態を保つこと。



人（地域）の健康

～誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり～

- 1 - お客さま・地域とのパートナーシップによる健康なまちづくり
- 2 - お届け（訪問活動）をととした「安全・安心」なまちづくり



人（従事者）の健康

～誰もが活躍・成長できる職場～

- 1 - 「健康のプロ」へのチャレンジ
- 2 - 個々の「健康実現」に向けた環境づくり
- 3 - 個々に合わせた学習環境づくり（成長プラン）
- 4 - 相互支援による多種多様な働き方の実現



地球の健康

～人にも地球にもよりやさしい企業へ～

- 1 - フードロスの削減チャレンジ
- 2 - エコロジカルな業務改善

2024年度 活動報告－1




健康応援企業
沖縄ヤクルト
SDGs

人（お客さま）の健康

～「健康のプロ」によるお役立ち～

- 1 「健康のプロ」集団によるお客さまサポート
従事者が「健康のプロ」となることで、お客さまへの貢献度を高めていく。また、事業部門（宅配・直販・化粧品）の連携を高め、チームとなってお客さまに最適な商品の提案・提供を実行していく。
※「健康のプロ」とは…健康の知識を持ち、自らも健康な状態を保つこと。



健康応援企業
沖縄ヤクルト
SDGs

人（お客さま）の健康

～「健康のプロ」によるお役立ち～

- 2 お客さま一人ひとりに寄りそった価値共創
一方的に伝えるのではなくコミュニケーションを通して、お客さま一人ひとり、お取引さま一件一件に合った価値を創造していく。

- 1 「健康のプロ」集団によるお客さまサポート
- 2 「健康のプロ」によるお役立ち

●お届け活動

従事者がもつ健康知識を活かしながら対話を通じて、お客さま一人ひとりに合った健康情報や最適な商品の提案・提供しています。

●健腸出前教室(全147回、参加者：5,135名)

2008年度からスタートし、教育機関、行政機関、県内企業など様々な場面で健康の大切さを伝えています。

●ヤクルトコミュニティプラザ沖縄公演(全37回/参加者：548名)

2012年にオープンしたヤクルトコミュニティプラザ沖縄は、医学博士・代田 稔の想いや歴史、研究所、生産工場の安全・安心な様子、世界各国で活躍するヤクルトレディを紹介する広報施設です。

●その他活動

- ・「基本のスキンケア&マナー講座」高校生向け（全3回、参加者：536名）
- ・「マナー講座」中学生向け（全2回、安慶田中・越来中）
- ・「Yakult Child care Program(小児応急手当研修)」保育士向け(2022年度から継続)



2024年度 活動報告－2





人（地域）の健康

～誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり～

1 お客さま・地域とのパートナーシップによる健康なまちづくり

各市町村の行政と連携し、地域住民に合った健康情報のお届け。また、既存のお取引先さまや同じく健康を発信している企業・団体とのパートナーシップで、更なる健康普及を図っていく。



人（地域）の健康

～誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり～

2 お届け活動をととした「安全・安心」なまちづくり

Y S・B Cのお届け活動が地域の防犯や一人暮らしの高齢者の見守りなどにつながっている。

また、お届け車両の安全性や従事者の交通ルール遵守・交通マナーを向上させることで安全・安心なまちづくりに貢献していく。

1 お客さま・地域とのパートナーシップによる健康なまちづくり

●協賛・共催

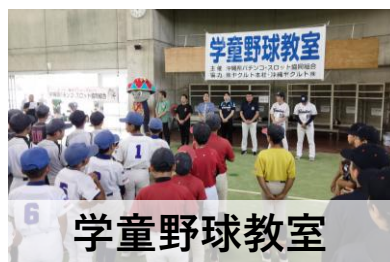
- ・NPO法人メッシュ・サポートへの支援金(2009年度から継続)
- ・宜野湾市ひとり親家庭こどもの生活・学習支援事業商品協賛(2014年度から継続)
- ・ピンクリボン沖縄への協賛
- ・水難事故防止活動への協賛
- ・学童野球教室(県パチンコ・スロット協同組合主催)

●教育関係

- ・JICA沖縄受入れおよび意見交換 ※テーマ「国別研修『非感染症疾患(NCD)』」
- ・職場体験の受入れ(全中学生・障がい者・教員・保育士など)
- ・産学協同PBL授業への参加(沖縄国際大学)

2 お届け活動をととした「安全・安心」なまちづくり

- ・愛の訪問活動
 - ・認知症サポーター養成講座(2022年から継続)
 - ・警察署との連携した活動(交通安全該当指導、防犯パトロールなど)
 - ・住宅用火災警報器設置に関する啓蒙活動(2020年度から継続)
 - ・見守り業務活動(2013年度から継続)
- ※(特非)介護子育て支援賃貸住宅沖縄NPOセンターとの協定



2024年度 活動報告－3



1－「健康のプロ」へのチャレンジ

- ・理学療法士による運動セミナー(2023年度から継続)
- ・管理栄養士による栄養セミナー(全社員受講/2022年度から継続)
- ・新人ヤクルトスタッフ研修
- ・ヤクルト健康アドバイザー「健腸カレッジ」1・2級(2020年度から継続)

2－「健康のプロ」へのチャレンジ

- ・健康実現プロジェクト(参加者：5名)
- ・Inbody測定会の実施(参加者：68名)
- ・ヨガインストラクターによるセミナー(全15回、参加者：のべ74名)

3－個々に合わせた学習環境づくり(成長プラン)




- ・入社時研修(新卒・中途社員)
- ・YS向け「税と扶養セミナー」
- ・社内留学制度(2023年度：3名、2024年度：2名)
- ・通信教育・書籍購入・資格受験などの費用助成制度


4－相互支援による多種多様な働き方の実現

- ・管理職以上の女性比率50%(14名中7名)
- ・残業時間の削減(2023年度：12時間35分→24年度：11時間30分)
- ・公休日の増加(2023年度：112日→24年度：115日)
- ・産休・育休取得率100%(2022～24年度)
- ・新卒社員の3年未満離職率0%(2021～24年度/計15名入社)
- ・ヤクルトスタッフにおける男性採用(8名※2025年3月時点)



2024年度 活動報告－4







地球の健康

～人にも地球にもよりやさしい企業へ～

1 –フードロスの削減チャレンジ

食品を扱う企業として、全ての商品を捨てることなく人々の口に届けたい。
「業務改善」+「パートナーシップ(子ども食堂への提供等)」でフードロス50%削減を目指していく。



地球の健康

～人にも地球にもよりやさしい企業へ～

2 –エコロジカルな業務改善

業務改善に加え、地球環境に優しい改善。
環境負荷削減のみならず、業務工程や時間の削減など、ゆとりを生み、人(従事者)のこころとカラダにも優しい改善を目指していく。

1 –フードロスの削減チャレンジ

- ・発注業務の見直しによる日付不良廃棄量の低減(宅配営業部・宅配チーム)

年度	廃棄・破損数(本)	1か月平均(本)
2023	62,055	5,641
2024	43,178	3,598
	△18,877本	△2,043本

- ・会社全体の廃棄量51%削減(2023年度比/Kg)

年度	廃棄量(Kg)	廃棄料金(円)
2023	19,714	689,990
2024	9,661	338,135
	△10,053Kg	△351,855円

- ・フードバンク等への提供(31カ所、162,006本)

2 –エコロジカルな業務改善

- ・ギフトセット改良による紙資源削減
(2021～24年度：223,108枚削減)



●その他活動

- ・OKINAWA SDGs プロジェクトへの参加(2021年度から継続)
- ・おきなわSDGs パートナー登録(2022年度から継続)
- ・SDGsに関する社内勉強会(2021年度から継続)
→みんなで学ぼう！環境マテリアリティ
→ヤクルトサステナビリティキャンペーン